

10 週 人間の罪

質問 14. 罪とは何ですか。

答え I 罪とは、神の法を守れなかったこと、その法を破ったことです。

質問 15. 私たちの最初の祖先が、被造された地位から墮落するようになった罪とは何でしたか。

答え I 私たちの最初の祖先が、被造された地位から墮落するようになった罪は、禁じられた実を食べたことでした。

解説

罪

道徳法では、私たちが行うべき義務の範囲を語っていますが、その範囲を超えることを罪と語ります。これと同じように、神が法によって命令なさったことを守れなかったことが罪であり、してはならないと禁じたことを破ることが罪です。神の法は、その方の聖と義、そして善を含んでいるから（ロマ 7:12）その法を犯すべき理由は何処にもありません。しかし人間は、神の法を守ろう

とせず、破ってしまいました。

原罪は、悪魔の罪から来た（Iヨハネ3:8）。悪魔は、初めから罪を犯した存在として、エバを罪によって誘惑し、罪を犯させました。勿論、誘惑を受け、罪を犯したアダムとエバに責任があります。それゆえ罪は、性質上、悪であり、汚染させる性質を持っています。罪は、人間を悪魔の形に造ることです。法の制定者が神であるので（イザヤ45:23）、神の法を破る罪は、性質上、神に敵対することです。

あらゆる罪の性質

聖書において罪を、汚れたものと語ります（イザヤ30:22）。そのため、罪を犯す状態を、不潔な衣を着ていることと語るのです（イザヤ64:6）。罪は人間の靈魂を汚します。それゆえ、旧約の祭司が神に出て行くためには、必ず、贖いのためのいけにえを捧げなければならなかったのです。罪は、聖靈を悲しませます（エペソ4:30）。罪は、神の恵みを忘れさせ、神の恵みを乱用し、神の戒めを破ることです。ダビデはアブシャロムに恵みを与えたが、アブシャロムはダビデに敵対したことと同じ意味です。

罪は、病気のように体全体を病ませるので、傲慢と情欲と妬みのようなものが体を支配し、主張し、理性を麻痺させ、心を汚染させてしまいます。従って罪は、非理性的なものとして、悪いだけでなく、愚かな行動等を発症させます。罪は苦しみを誘発させる。罪は、自分自身に苦しみを与えるだけでなく、共同体にも苦しみを与えます。罪の効果は悪です。それで私たちの栄誉を壊し、靈魂の平安を奪って行き（イザヤ57:21）、恐れを持ち込ませる。

罪は、良心に重荷として作用し、重くのしかからせる。イスカリオテ・ユダが苦しんだのも、このような理由からでした。罪はすべての問題と、苦しみを生じ

させ、家庭と国家を混乱の中に巻き込ませます。そして、罪の悔い改めがない場合は、最終的には罪人と定められます。

無罪の状態

アダムとエバは罪のない栄光の状態でした。彼らには、聖さがあり完全な知識を持っていました。アダムは完全に聖く、自由の中で善を行うことができました。彼らは、自分たちの義務を知っていて、持っている知識によって容易に神に従順することができました。アダムの墮落する以前の自由意志は、誘惑に打ち勝てるに十分でした。墮落する以前は、人間が世界を主管していました。

このように神は、人間を正しい者と造られたのですが、人間は多くの理屈を探し出したのです（伝道書 7:29）。自ら理屈を膨らませ、罪を犯したのです。

善悪の実を食べてはならないと命じた理由

神が、アダムに善悪の実を食べてはならないと命じた理由は、善悪の実、それ自体が悪だからではなく、ただ人間に従順するのかどうかを試すために、その実を食べてはならないと禁じたのです。神が食べてはならないと命じたので、アダムとエバは善悪の実を食べてはならなかったのです。

悪魔の誘惑

悪魔の誘惑は嘘から始まりました。そして悪魔は、続けて嘘を持ってエバを誘惑しました（ヨハネ 8:44）。悪魔が誘惑するためにエバを先に選んだのは、彼女が誘惑に抵抗できるのに弱いと考えたからです。それから、彼女を通してアダムを簡単に誘惑できると見たからです。ヨブが苦難を受けていた時、その妻が誘惑したのと同じです（ヨブ 2:9）。悪魔は、エバの信仰を先ず弱くさせ、神の真理に

ついて疑いを抱くようにさせました。そして傲慢になるように誘惑しました。結局エバは、善悪の実を食べ、自分の夫にも与え、食べるようにさせました（I テモテ 2:14）。

アダムとエバの罪

アダムとエバの罪は、禁じられた実を食べたことでした。彼らの罪は、単純に一つの罪ではなく、複合的なもの、多くの罪でした。アダムとエバは、神の仰せられた言葉を信じませんでした。彼らは、善悪の実を食べた場合、必ず死ぬと言う神の言葉を信じなかった。神の言葉を信じないことは、神を嘘つきにさせ、悪魔を神よりも信じる、ということでした。

アダムとエバの罪は、エデンの園にて犯したことです。神は、アダムとエバに園のすべての木の実を食べるようにさせ、世界を主管できる権威も与えました。アダムとエバは、自足しながら神に感謝すれば良かったのです。しかし、彼らは自足ができず、感謝もしませんでした。かえって、悪魔の言葉に耳を傾けたのです。

そして、アダムとエバの最大な問題は、神になろうとしたことでした。神が、被造物の中で最も高い位置に置いたのですが、それにも感謝しなかった。善悪の実が食べるに良く、目に慕わしく、感覚的な楽しみに誘惑されてしまいました。それで、神の戒めを破ってしまいます。不従順し、主権者なる神に反逆を行ったのです。アダムとエバの罪は、自分たちだけでなく、子孫にまで死をもたらした罪でした。そのため、アダムとエバの罪は、殺人罪に該当されます。アダムとエバの罪は、極悪非道な罪でした。